

チリカブリダニ剤

有効成分：チリカブリダニ 1,000頭/250mL

その他の成分：鉱物質

性状：淡褐色粒状

包装：500ml ポリエチレンボトル（2,000頭入り）

使用上の注意事項

- 本剤はハダニ類を捕食する天敵チリカブリダニを含有する製剤である。
- チリカブリダニの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切ること。
- 容器中でチリカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際には容器を横にしてゆっくりと回転させた後、ハダニ類が発生している葉上に容器から少量に分けて放飼すること。
- ハダニ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、ハダニ類がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をすること。なお、ハダニ類の発生は均一ではないので、ハダニ類の密度の高い場所へ重点的に放飼することが望ましい。
- 天敵としてチリカブリダニが有効な密度（チリカブリダニ1頭当たりハダニ類が30頭以下）を保つため、ハダニ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼することが望ましい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を17～30℃に保つことが望ましい。
- チリカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理すること。

貯蔵上の注意事項

- 本剤は天敵生物であり、容器内での生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないこと。

天敵

農林水産省登録第20852号

チリトッ
Chiri-
Top
チリカブリダニ剤

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期
野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	6,000頭 /10a	発生初期

本剤の使用回数	使用方法	チリカブリダニを含む 農薬の総使用回数
—	放飼	—

最終有効年月

入手後直ちに使用すること

製造

株式会社アグリ総研 稲敷事業所
茨城県稲敷市沼田 2629-1

パイオベスト N.V. ウェスターロ工場
ベルギー王国イスルヴェルデン18 2260

アブライドバイオノミクス ビクトリア工場
カナダ プリティッシュコロンビア州
北サーニッチ 西サーニッチ通り 1174

パイオロジカルサービス パース工場
オーストラリア西オーストラリア州
ムチェア ベインストリート126

